



社会文化プログラム

やすの 安野 正明 先生

研究室：A813
オフィスアワー：
（火）12:30~14:30
担当授業：
政治の世界A(1)
政治の世界B(2)
現代史の世界(1)(2)
現代史(3)
現代史演習(5)
※（ ）内はセメスター

安野先生の研究内容を教えてください！

主な研究対象は戦後ドイツ（旧西ドイツ）史です。ただし、日本のことをいつも考えながら取り組んでいます。日本とドイツの戦後には比較して面白い点があります。例えば、第2次世界大戦時、共に枢軸国陣営に属し連合国と戦い、敗戦の廃墟の中から復興をとげ経済大国になったというのは共通しています。しかし、社会保障の充実度には大きな差が生まれましたし、アジアの近隣諸国から「歴史問題」などで不信の目で見られがちな日本とは対照的に、ドイツはヨーロッパの一員と

して周辺諸国の信頼を獲得することに成功して現在に至っています。「ドイツはすばらしく、日本はだめだ」という自虐的な観点からではなく、いささかなりとも、現代日本の歴史的理解に寄与したいという思いで、ドイツ史を研究しています。

特に専門的に研究しているのは、日本の社会民主党（旧社会党）とは随分と異なった道をたどったドイツ社会民主党の歴史です。この政党のブランドという人物は、私生児として生まれ、ヒトラーの時代は過激な社会主義者ゆえに亡命をよぎなくされますが、北欧での亡命中に大きく変わり（いかなる経緯で、どのように変わったかが一つのポイントです）1969年に戦後社会民主党初の首相になりました。日本人は留学するが、あまり亡命はししないでですね。ブランドに限らずドイツ

には亡命者が多く、彼らの戦後の生き様に興味を覚えています。

研究までの道のりを教えてください！

高校時代を振り返ると、その頃は語学が好きで、学部は東京外国語大学のドイツ語学科に入学しました。しかし、学部4年の間に国際政治史に関心が移り、大学院は東京大学の国際関係論専攻に進学しました。就職の世話はしてくれないが、その代わり何をやるでもいいという所で、戦後ドイツ史という専門が自分のなかで定まったのは修士論文を書き上げた頃だったと思います。

研究の中の総合科学を教えてください！

私としては、総合科学という看板を振り回すには少しためらいがあります。ただ、ど

研究室紹介

んな専門であっても研究課題を深く掘り下げていくと、様々な学問分野と関わり、その助けが必要になると思います。例えばナチズムを研究する場合、歴史学や政治学からのアプローチがあります。これは私にとって身近なアプローチです。しかし、ヒトラーという独裁者のメンタリティーや人格形成を知るためには、心理学の素養のある方の研究が貴重です。また「大衆はなぜヒトラーを支持したのか」を考えるためには、大衆社会論を専攻する社会学者の仕事から学ぶものが多くあります。このように、一つのテーマを深く研究していくけば、総合科学に行き着くのではないのでしょうか。

それから、総合科学部にいるとまったく別の専門の人と色々な所で係わりを持つこととなります。そうすると、当たり前のことではありますが、自分の狭い専門の中での「常識」が、必ずしも他の分野では「常識」ではないことに気づかされます。それはとても大切なことで、他に対する寛容というのか、それを忘れずにいられるのではないかという希望と期待を総合科学部には持っています。

学生時代に燃えたことは何ですか？

あまりひとつのことに燃えたっていう記憶はないなあ。ただ、いつも渴きを覚えていて、いろいろと試行錯誤をしていたと思います。

学生に一言お願いします！

大学での勉強は、いろいろな点で高校までとは異なります。入試では、どんな難問でも正解のない問題は出ないでしょう。しかし、大学では、いつ答えが出るのかわからない問題、そもそも「正解」があるのかどうかもわからない問題に取り組むことになります。その際、大切なのは、想像力だと学生時代に教わりました。なぜなら、自分の目の前に見える人々や出来事に共感し、一見したところ自分の日常の損得には関係を持たないかに見えることに力を注ぐのが学問だからです。その想像力が、若い方に限らずですが、弱くなっているような気がしてなりません。

それから、「過去に目を閉ざすものは、現在に対して盲目となる」(ヴァイツェッカー)という言葉がありますが、歴史に関心を持ってください。目の前の「格差社会」には関心を持つが、昔の労働運動史には無関心というのは、私には不思議です。

最後に、ひとつだけ絶対にやってはいけないことがあります。それは、自殺。若いときは、いくら間違いを犯しても失敗しても、やり直しはきくものです。それが若い人の特権です。でも、死んでしまったらやり直しできないじゃないですか。

【担当】 22生 吉正 尚人

趣味 旅行・音楽鑑賞

アフリカや中南米のような行ったことのないところに行きたいですね。ドイツにはよく出掛けますが、純粋に遊びで行けたらいいなと思います。音楽はクラシックが好きです。ドイツに関心を持った理由の一つでもあります。

自慢の品 家族

「品」ではないけど、やはりいちばん大切なものです。

座右の銘 あせるな、怒るな、あきらめるな

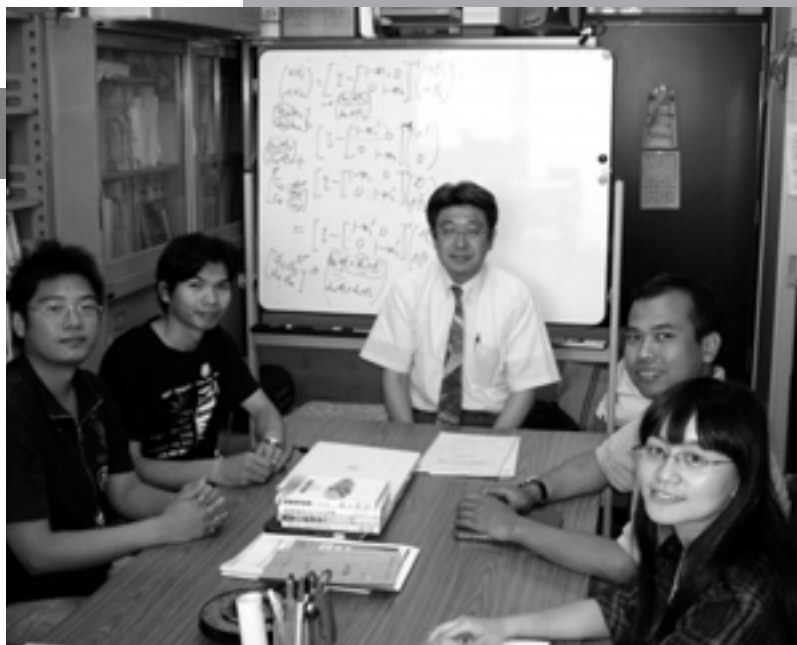
美空ひばりさんがよく口にしていた言葉だと聞いたことがあります。「あせり、怒り、あきらめがち」な毎日なので、勇気付けられたり、戒められたりです。

時間があったらやりたいこと 世界一周

あくまで夢だけど……。元気でいて、定年退職後にも行けたらいいですね。

生まれ変わったら

やっぱり歴史の勉強をやりたいですね。



行動科学プログラム

いちはし 市橋 まさる 勝 先生

研究室：A815
オフィスアワー：
(月)(木)
12:00~12:40
18:00~18:30
担当授業：
統計学A(1)
統計学B(2)
社会経済統計論(2)
意思決定情報演習(4)
経済データ論(5)
政策分析演習D(6)
※()内はセメスター

市橋先生の研究内容を教えてください！

専門は経済学です。最近では、資源価格が変動したとき経済にどんな影響を与えるかというところを、僕のフィールドの一つでもある産業連関分析という手法を使って研究していました。具体的には、中国北京市の水価格が経済にどう影響を与えるかということを探りました。でも水価格の影響はあまり大きくないという結果になりました。その前は、原油価格の変動を題材に同じようなことを日韓で比較しました。こちらは韓国の方は価格にセンシティブに反応するけど、日本のほう

は大きな反応が見られないというおもしろい結果が出ました。これは韓国の各産業が原油に依存しているため、原油価格が上昇すると敏感に反応してしまうからというのが一つの原因としてあると思います。70年代のオイルショック時に日本でモノの値段が上がったのと少し似ているかもしれませんが、日本のほうは逆にエネルギーの電化が進んだり、省エネが進んだりしているから韓国ほど原油に依存していないのかも知れません。このような感じで、ここ数年は、水も含めたエネルギー価格が産業活動やモノの値段にどういった影響を与えるのかということを探っていました。

研究までの道のりを教えてください！

簡単にいえば、学部を卒業後、大学院以外

いくところがなかったんです。静岡大学の文学部に入って学生時代に学生運動みたいなものやっていたんですけど、気づいたら4年生になっていて、就職もできず困っていたときに、当時のゼミの先生が心配して「大学院という道があるよ」と声をかけてくれたんです。当時から経済学を勉強したいという気持ちがあったので、大学院に入る前に当時は高かったパソコンを親に頼んで買ってもらうって、パソコンでのデータ分析をつかった経済学をやろうと思ったんです。それがきっかけで経済統計分析という経済統計論の分野で研究をやることになったということです。学部のゼミの先生が産業連関分析を教えてくださいましたので、その手法を今日まで使っています。

研究室紹介

研究の中での総合科学を教えてください！

以前総合科学プロジェクトというものを総合科学部がやっていて、その下で数学者や歴史学者や経済学者などいろいろな分野の人達を集めて僕達は「総合科学研究会」というのを開催していました。そこで「境界」概念をめぐる学際的研究」という論文集を発表しました。経済学というのは、社会のシステムがどう動くのか、しかもなぜ安定的に動くのか、例えばリーマンショックのようなショックが起きた時に、どういう風な処方箋を手当てすればシステムが安定的に回復するのかということの研究している学問だと思っています。でもそれは経済のシステムだけでは語れないんです。人々の消費行動というのは、いろんな要素で起こっているんで、文化的な要素や歴史的な要素なども取り込まなければ、経済のシステムは分析できないはずだと思います。でも、2〜300年の経済学の歴史において、多くの経済学者がいろんなことを考えて来ましたが、まだ、上手くそれらを取り込むことに成功できていません。これからは政治学の要素や社会学の要素などを取り込んで経済学を研究していこうという動きになることは間違いないと思ったので、これから経済学が射程とすべき領域は一体どういうものがあるって、どういうところにポイントを当てて分析すると経済学とうまくかみ合っていく

かということを思想的に考えましよう、その論文集には論文を書きました。総合科学部は冒険ができる学部だと思います。だから研究者の側が従来の枠組みを乗り越えていくような、そういうチャレンジャーになっていかないと、学生に教えることはできないと思うんです。そのようなことが、〈総合科学部と私〉というイメージです。

学生時代に燃えたことは何ですか？

学生運動です。でも、投石はしてませんよ(笑)。社会科学サークルに入って、「日本の政治を変えよう」みたいな「政治ごっこ」をしていました。僕が学生だったときは、大学生が社会の問題に目を向けるということは当然だと思っていたんですけど、みんな高校生の延長で、「社会？なにそれ？」とか「思想？こわいね」というレベルだったんです。そういうことが僕にとっては子供っぽいイメージだったので、背伸びの意味も込めて社会に目を向けようと思っていました。その意味で学生運動は社会問題を考える身近な窓口でした。ただ、それは左翼思想を主に勉強するという場でした。現在では左翼思想とは全く違う思想的地点にいますが、左翼思想の何が問題なのかということをよく理解できたという意味で、学生運動は非常に良い経験でしたね。

学生に一言お願いします！

好きなことやればいいと思いますよ(笑)。総合科学部の特徴は良くも悪くも「自由放任」な所にあると思うので、自分のやりたい専門分野を決めて、総合科学にチャレンジするつもりで邁進されることを期待します。

【担当】22生 恩田 怜

趣味 酒とカラオケ

カラオケは演歌以外だったら何でも歌いますよ。最近家族と行くんですけど、点数では僕が圧勝しますね(笑)。酒はひととおりに飲みますけど、ワインが好きかな。

自慢の品 フライベートブログ

元は地元北海道夕張市の同級生との情報交換を目的にやったブログなんですけど、いつの間にか僕の社会に対するボヤキブログになってしまいました(笑)。大学の僕のホームページからリンクしているので、興味があったら見てください。

座右の銘 小利口に立ち振る舞うよりもむしろ大馬鹿に生きろ！

大馬鹿に生きて失敗してもいいじゃないですか。ぜひ夢を持って4年間を過ごしてほしいですね。

時間があったらやりたいこと 読書

風光明媚なところでビール飲みながらひたすら読書っていうのがいいですね。

生まれ変わったら 鳥になりたい

空を飛びたいから(笑)。こんな聞いてどうするの？(笑)



生命科学プログラマー

根平 達夫 先生

研究室：C225

オフィスアワー：
在室時はいつでも対応可

担当授業：
化学実験法・同実験(1)(2)
※()内はセメスター

根平先生の研究内容を教えてください！

専門は有機化学なので分子の研究です。ずっとやっているのは小さな有機分子の構造を決めることです。特に立体構造の決定や、そのための新しい手法の開発がメインです。有機化合物の立体構造を知るとは、分子の反応や生理活性を議論するときかなり重要になります。しかし分子はとても小さいので、取り出して手にのせて見ることができません。よって、X線や紫外線を当て、その応答の様子を使って知るしかないのでとても難しいことがあります。

既知の分子であれば過去のデータを参照すればよいのですが、新しい化合物の立体構造は自分で決めないといけません。他の過去の化合物のデータを参照している間は絶対に決まらないので容易ではありません。

僕が注目しているのは円偏光を使った方法です。立体構造が異なると、同じ波長の光でもその光の振動方向に対して異なる性質を示しますので、これを利用して立体構造を判別するのです。光にどう応答するかということと立体構造とを結びつけるために、理論計算をすることもあります。

最近、この方法をもっと広く使えないだろうかと考えて、新しい装置を作りました。これは研究員の時に市販の測定装置に不完全な面があることに気が付き、広大に来てから作った改良モデルで、まだ世界に3台しかない

いんですよ。最近はこれを、タンパク質の構造研究に応用しています。これからどんなデータが出るのか、楽しみです。

研究までの道のりを教えてください！

父も祖父も大学の研究者だったので、本を読んだりコツコツと資料やデータを集めたりする姿が楽しそうで、ほのかな憧れはありました。大学の先生になりたいと思ったのは30歳前くらいからですけど……。

大学進学するとき、専攻を化学にするか生物にするかで悩みましたが、分子の構造がパズルみたいで楽しそうだったので化学を選びました。学部では天然という名前と先生の雰囲気にかかれて「天然物化学」の研究室に入ったのですが、大学院に合格できずやむなく研究室を移りました。不合格は残念でしたが、

研究室紹介

卒業研究も順調ではなかったので良い転機になりました。移った研究室は新しい先生が来たばかりで、研究室もまだ出来ていなかったほどなので、実験室の棚をつけたり、本棚を作ったり、という大工仕事から始まって面白かったです。工夫してモノやアイデアを組み合わせていくのが楽しくて、これをもっと続けたいと思い、ドクターコース、研究員と進路を進んで原点であり憧れでもあった広大に戻ってきました。

研究の中の総合科学を教えてください！

エキスパートになることはもちろん大事ですが、自分の専門に閉じこもると行き詰ります。自分の専門はこれだから、これはやりませんという意識をなるべくもたないようには心がけています。この学部だったらいろんな専門家がいますから、分野ごとに自分の師匠を密かに持っていて、廊下や食堂で見かけたりしたら聞きに行つてちよつと質問をしたりということをよくします。

学生時代に燃えたことは何ですか？

硬式野球です。中学から野球をしていて、ポジションは大学の際は外野でした。大学のリーグが仙台で、ちよつと金本知憲とか斎藤隆とか佐々木主浩とか矢野燿大っていう後にプロで活躍するような選手がいたので、ヒッ

トを打ちたい、もつれた試合にしたい、できれば勝ちたい、と思いつつ、学業そつちのけで毎日練習しました。普段の練習で専属の監督やコーチはいなかったのですが、選手同士で工夫していたのが今思うと非常に楽しかったです。結局リーグ戦で上位にはなれませんでした。結局リーグ戦で上位にはなれませんでした。したが、よく考えて工夫すれば才能がなくてもある程度までは上達するという満足感と、同じグラウンドにいた選手がプロでも活躍しているという刺激が僕にとっては大きな収穫です。

学生に一言お願いします！

先生は先生だから偉いのではなく、自分で工夫してできないことができるようになったり、分からないことを理解できるようになったりする、自分で工夫する能力が高い人だから先生なのだと思っています。だからどうやってそうやって進化しているかというところを、よく観察して盗むことをお勧めします。

有名人から刺激やヒントを得るのももちろんいい方法だと思いますが、時間や場所を共有している身近な先生や先輩が手本になると日常が楽しくなります。

【担当】 22 生 吉川 量子

趣味 マラソン

土日の早朝にやっているほか、帰りに駅を手前で降りて走って帰っているんです。出張先にもシューズとウェアを持っています。

座右の銘 先生は多いほうが良い

自分がこの大学で役に立っているんだろうかとちょっと悩んだ時に、ある先生に何気なく言われた言葉で、この言葉にかなり救われました。

自慢の品 読書日記

本の著者、タイトル、出版社、出版年、内容で印象に残ったこと、本のありかを書きとめています。今 3 冊目です。読書日記をつけるのはお勧めですよ。

時間があつたらやりたいこと 粗仕事

毎食自分の畑でとれたものを入れたいです。土作りから自分でしたいです。

生まれ変わったら 左利きになりたい

世界の見え方が違うんじゃないかと思っています。スポーツとか自動改札機とか。



数理情報科学プログラム

市原 直幸 先生

いちほら
なおよき

研究室：C721

オフィスアワー：
(金) 13:00~14:00

担当授業：
微分学(1)
微分学講義演習(1)
論理と計算(5)
※ () 内はセメスター

市原先生の研究内容を教えてください！

確率論と呼ばれる数学の一分野を研究しています。確率論は、自然や社会の中に現れる不確実な現象を数学的に理解しようとする学問です。17世紀の数学者パスカルとフェルマーが交わした賭けごとについての文通が、数学的な意味での確率論の始まりといわれています。

確率論の特徴的な考え方を一言で述べると、でたらめなものが数多く集まると、そのでたらめさがかえって一定の法則を成立させるといえます。例えば、サイコロを振った

ときどの目がでるかや断定的に予測することは不可能ですが、サイコロを何度も振り続けていくと、偏りのないサイコロならばどの目が出る相対頻度も必ず6分の1に近づいていきます。これを大数の法則と呼びますが、確率論とは「でたらめ」の中に潜む「でたらめでない」法則を見つける学問といえます。

研究までの道のりを教えてください！

確率論の勉強を始めた大学4年生の頃、ブラウン運動という現象を初めて知りました。これは、水面に浮かぶ花粉が水分子の影響で水面を不規則に動き回る現象のことで、植物学者のブラウンによって発見されました。20世紀初頭に数学者ウィーナーは、この不規則な運動を初めて数学的に定式化しました。私は、ランダムという捉えどころのないものを

時間があったらやりたいこと

遠くの島でのんびりしながらビールを飲みたいです。

生まれ変わったら

何でも良いので、映画に関係する仕事をしてみたいです。

研究室紹介

厳密な学問である数学を使って表現できるという点に面白さを感じました。

大学院に入ってから、熱伝導などの様々な自然現象はブラウン運動の数学モデルを使って調べることができることを知り、それ以後は物理学や工学などの問題に潜むランダムな現象について主に研究しています。今から思うと、先に述べた経験が現在の研究のルーツになっているのかもしれない。

研究の中での総合科学を教えてください！

人文系から自然系までいろいろな研究者が一つの学部にいるという環境は、大変ユニークなところだと思います。自分の研究のことで「総合科学」を意識することは特にありませんが、私の全く知らない未知の領域について研究されている先生方と話す機会もあり、学問の自由を感じることのできる場所だと思います。

学生時代に燃えたことは何ですか？

「学生に一言」で少し触れた「知らないこととにどんなチャレンジする」という話は、実は私自身がある先生から学生時代に言われたことでもあります。その先生に言われたこともあって他分野の勉強もたくさんしました。特に言語学や社会学などが面白くて、友達と一緒に勉強会をやったりもしました。

勉強以外では映画が好きで、ヨーロッパや日本の古い映画をいろいろと観ました。昔の映画はあまり上映していないのでビデオを借りて見るが多かったのですが、週末のオールナイト上映でたまに特集されることがあり、映画好きの友達と良く観に行きました。

学生に一言お願いします！

大学時代に初めて経験することは数多くあると思うので、自分の知らないこととどんなチャレンジして欲しいです。例えば、海外へ行ってみるのはおもしろいと思います。日本以外の世界あるいは世界の中の日本を意識すると、いろいろなことが見えてきます。

学問について言えば、大学では自分の頭で考えることがとても大事で、先生の言うことや教科書に書いてあることを鵜呑みにせず、「本当にそうなのか」と常に自問自答する習慣を身につけて欲しいと思います。

【担当】22生 山崎 陸

趣味 読書

ジャンルは問わず、何でも読みます。

自慢の品

うーん、特にありません……。

座右の銘

座右の銘ではありませんが、自分で納得するまで考え続けるということ、研究者として気をつけています。

研究室紹介

微生物の多様性、土壌微生物との相互作用など様々な機能を持つことが示唆されています。これらの共生の機能を明らかにする研究をしています。

研究までの道のりを教えてください！

動物学をやってアフリカに行きたいと思っていましたが、植物病理学の講義でのある出来事がきっかけで微生物の世界に進むことになりました。普段はたんたん授業をする先生の様子が、ある一時間だけ違ったのです。うれしそうだったのです。先生は植物病原細菌が生産する毒素の植物への作用について研究されていましたが、その日の講義は先生の研究に関連するテーマの日だったのです。そのとき見えない世界で起こっている生物間の相互作用はおもしろいと思いました。大学院（修士）では、植物の細胞壁を分解する病原細菌の酵素について研究していましたが、細胞壁が分解されている現場を見なければだめだという思いに至り、その時からずっと現場主義的な研究をしています。そのあと、植物と微生物の共生が研究対象になりました。

研究の中での総合科学を教えてください！

生物学は化学現象、物理現象の総体です。まさに総合科学です。今は、生物現象を様々な表面分析手法により解析できないか

チャレンジしています。

学生時代に燃えたことは何ですか？

クラブ活動と研究です。クラブ活動はバトミントンをしていました。

学生に一言お願いします！

今が勝負のときですよ。

【担当】 22生 島田 真一

趣味 映画、ダンス、スポーツ、旅行

いずれも時間が無いのですが……。

座右の銘 初志貫徹、人生死ぬまで冒険

自慢の品 以前飼っていたネコ

このネコは、洋式の水洗トイレを使うんですよ。そういえば、ネコを飼って初めて、自分がネコアレルギーであることに気がつきました（笑）。